

船舶事故等調査報告書

平成21年6月25日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009広第104号	
事故等名	貨物船新若豊丸乗揚	
発生年月日時刻	平成20年12月18日07時50分ごろ	
発生場所	愛媛県松山港 (概位 北緯33° 50.4′ 東経132° 42.1′)	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年4月9日広島・地方事故調査官が海難報告書入手、4月6日 船長から文書照会の回答入手 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報		
船種・船名・総トン数	貨物船 新若豊丸 199トン	
船舶番号	135102	
船舶所有者等	個人所有	
船種・船名・総トン数		
船舶番号(IMO 番号)		
船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 五級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	船尾船底外板に軽微な凹損	
事故等の経過	本船は、岩塩680トン積載し、船首約2.9m、船尾約3.4m の喫水で、平成20年12月18日07時50分ごろ、松山港岸壁に着岸作業中、船尾船底が乗り揚げた。 当時、天気は晴れで、風力1の北北西風が吹き、潮候は上げ潮の初期であった。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、着岸作業中、海図により水深の確認をするなど、水路の調査を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が着岸作業中、海図により水深の確認を行うなど、水路の調査を適切に行わなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	